

## 基本情報

指標番号  
2126

### 名称

胆管炎・急性胆嚢炎に対する入院2日以内の超音波検査実施割合

### 分母

胆管炎・急性胆嚢炎で入院した症例

### 分子

分母のうち、入院日から2日以内に超音波検査が実施された症例

### 指標群

消化器系

### 意義

急性胆嚢炎の治療方針の決定のため重要である（プロセス指標）

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020,2022

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする
2. このうち、胆管炎もしくは急性胆嚢炎で入院した症例。入院の契機となった傷病名に下記の ICD-10 コードが該当すれば対象とする

ICD-10 コード	病名
K800	急性胆のう<嚢>炎を伴う胆のう<嚢>結石
K803	(総)胆管結石性胆管炎
K810	急性胆のう<嚢>炎
K830	胆管炎

### 分子の定義

1. 入院日から2日以内に腹部超音波検査を受けた症例。EF ファイルで入院日または入院日翌日に下記が請求されている症例

レセ電コード	手術名	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
160072210	超音波検査（断層撮影法）（胸腹部）	○	○	○	○	○	○	○
160072110	超音波検査（Aモード法）	○	○	○	○	○	○	○
160072450	超音波検査（心臓超音波検査以外） （断層撮影法とMモード法）	○	○	○	○	○	○	○

レセ電コード	手術名	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
160072750	超音波検査（心臓超音波検査以外） （Mモード法）	○	○	○	○	○	○	○

## その他

### 薬剤一覧の出力

いいえ

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

- 急性胆嚢炎において、超音波検査は重症度の評価、診療方針の決定に必須の検査とされている。
- 胆管炎は急性胆管炎症例に限定したいが、ICD10 コードや病名からの絞りこみが困難のため、慢性胆管炎症例が一部含まれる。

## 参考資料

### 参考値

### 参考資料

- 科学的根拠に基づく急性胆管炎・胆嚢炎の診療ガイドライン. 急性胆道炎の診療ガイドライン作成出版委員会 編 2005
- TG18 新基準掲載-急性胆管炎・胆嚢炎診療ガイドライン 2018 急性胆管炎・胆嚢炎診療ガイドライン改訂出版委員会